

[成果情報名] 中晩生カンキツにおけるポリエステル製筒状果実袋の鳥害軽減効果

[要約] 中晩生カンキツにおいて、収穫前に果実の筒状になったポリエステル製の袋をかけることにより鳥害を軽減することができる。

[キーワード] 中晩生カンキツ、果実、鳥害

[担当] 農林技術開発センター・果樹研究部門・カンキツ研究室

[連絡先] 0957-55-8740

[区分] 果樹

[分類] 普及

[背景・ねらい]

年によって発生する鳥による食害は果樹栽培にとって深刻な問題であり、経済的な損失が大きい。特に野山にエサが乏しい冬季はヒヨドリなどの野鳥が果樹園に飛来し、収穫時期が遅い中晩生カンキツを好んで食べる傾向がある。そこで鳥害を軽減するための対策として、ポリエステル製の果実袋の鳥害軽減効果について調査した。

[成果の内容・特徴]

1. 鳥による食害の発生率は年によって差がみられるが、発生が著しい年は約 2週間で過半数の果実が被害を受ける（表 2、図 1）。
2. 収穫前にポリエステル製の果実袋を掛けることにより鳥害の発生をほとんど抑えることができる（表 1、表 2、図 2）。
3. 緑色の袋で42日後に被害を受けたが、袋の色の違いによる被害程度の差はほとんどみられない。

[成果の活用面・留意点]

1. 本試験は主にヒヨドリの食害軽減効果である。
2. 前年の夏から秋にかけて袋かけすることにより、傷や果面の褪色発生軽減効果も得られる。
露地栽培における中晩生カンキツ「せとか」の袋かけによる果面保護. ながさき技術普及情報. 第25号. 71-72

[具体的データ]

表1 露地栽培「はるみ」における袋かけと鳥の食害の被害率 (2006)

袋色	累積被害率 (%)				
	被袋 ² 3日後	11日後	26日後	33日後	42日後
黒	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
白	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
黄	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
赤	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
緑	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
無袋	1.7	16.7	26.7	30.0	46.7

² 被袋日:2007年 1月 9日

表2 露地栽培「はるみ」における袋かけと鳥の食害の被害率 (2008)

袋色	累積被害率 (%)						
	被袋 ² 2日後	4日後	6日後	10日後	14日後	19日後	22日後
黒	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
白	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
黄	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
赤	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
緑	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無袋	14.0	26.0	36.0	46.0	54.0	74.0	78.0

² 被袋日:2009年 1月20日



図1 ヒヨドリの食害を受けた果実



図2 ポリエステル製の袋をかけた果実

[その他]

研究課題名：機能性に富む中晩生カンキツの高品質果安定生産技術の確立

予算区分：県単

研究期間：2004～2008年度

研究担当者：林田誠剛